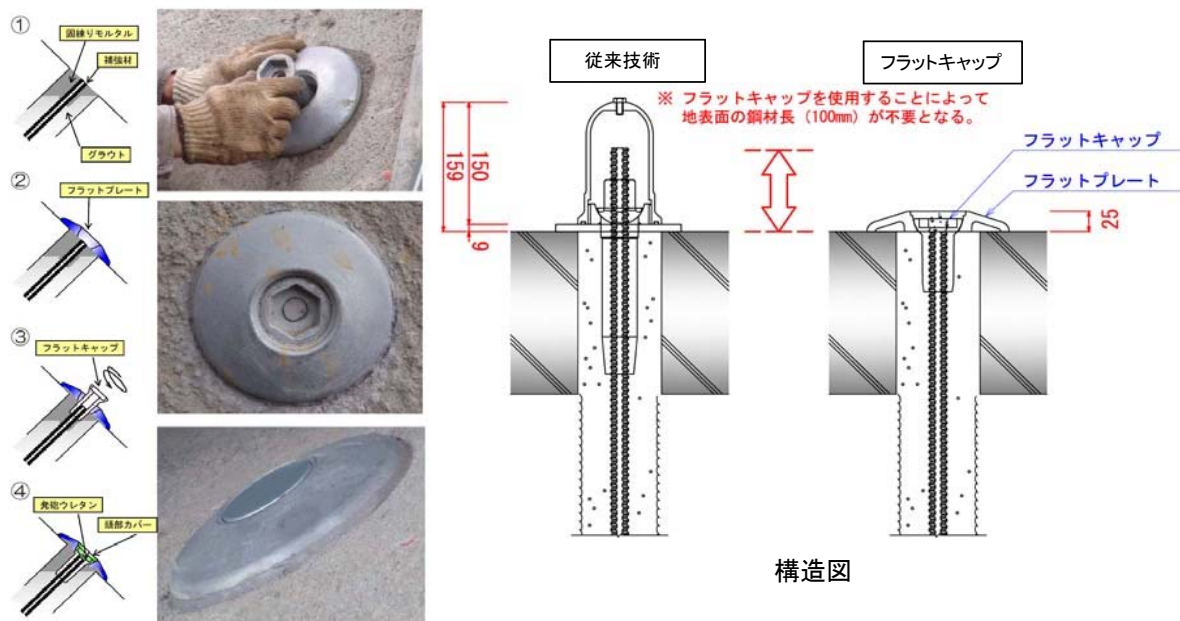


技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質	(該当する分類に○を付けてください)	
技術名称	斜面に新景観！「フラットキャップ」	担当部署	
NETIS登録番号	KK-110058-A	担当者	川中 一博
社名等	災対新技術研究会	電話番号	0736-64-8099
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 地山補強工における鉄筋挿入工では、従来より地表面に接地した定着板をナットで締め付け、(締め付け部の余長として100mm必要)頭部保護のため、頭部防錆処理キャップで覆っていました。(頭部の突出が約150mm) 地表にとびだした部分が、落石や車両等の接触など外部からの損傷を受けやすく、法面の保守作業時の障害となっていました。また、護岸に使用した場合には、河道の流下能力の支障となっていました。このようなことから、経済性、耐久性、周辺環境への影響が向上する製品の開発が求められていました。 2. 技術の内容 地山補強工の鉄筋挿入工(ロックボルト工)の頭部定着を改善します 補強材の締め付け部の余長を無くして定着させることで、地表部の突出を抑えます。 - 補強材は頭部締め付け部の余長が不要で、頭部の突出が無くなります。 - 頭部処理材料は、フラットプレート(薄さ25mm)内に収まります。  これまでのロックボルト  フラットキャップを使用  フラットキャップ とびださないロックボルトの頭部定着部材 補強材* 頭部カバー フラットキャップ フラットプレート		
3. 技術の効果	- 補強材は頭部締め付け部の余長が不要となり、材料長を短くできます。 - 頭部処理材料はフラットプレート内に収まるので、頭部防錆処理キャップが不要となります。 - 地表部がとびださないで、外部からの損傷を受けにくく、法面の保守作業時に障害になりません。 - 地表部がとびださないで、護岸に使用した場合には河道の流下能力の支障となりません。		
4. 技術の適用範囲	・地山補強工における鉄筋挿入工(ロックボルト工)の頭部処理に使用します。 ①適用可能な範囲 - 鉄筋挿入工(ロックボルト工)の頭部処理の全てに適用が可能。 ②特に効果の高い適用範囲 - とびださないで、鉄筋挿入工で地表部の突出が支障となる場合に効果が高い。 ③適用できない範囲 - 従来の鉄筋挿入工(ロックボルト工)と同等。 ④適用にあたり、関係する基準およびその引用元 - 従来の鉄筋挿入工(ロックボルト工)と同等。 「切土補強土工法設計・施工要領」 東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社 西日本高速道路株式会社		
5. 活用実績	国の機関 5 件 (九州 1件、九州以外 4件) 自治体 103件 (九州 8件、九州以外 95件) 民間 13件 (九州 0件、九州以外 13件)  ↑ フラットキャップ使用でスッキリおさまります！		

6. 写真・図・表



施工手順



従来技術との比較



突起物をつくらず、擁壁を補強



受圧板との併用で、法面を全面緑化



水路内に突起物をつくらず、護岸を補強

「いさぼうネット」に詳しい情報を掲載中。フラットキャップで検索！

<http://isabou.net/sponsor/saitai-shin-gijyutu/flat.asp>



災対新技術研究会

〒640-0405 和歌山県紀の川市貴志川町岸宮433

TEL 0736-64-8099 FAX 0736-64-8889

Email: saitai@ia6.itkeeper.ne.jp